

市内視察レポート



聖地巡礼効果を大いに期待

〔総務文教常任委員会〕



下町ロケットの撮影現場

今回の市内視察は、市内公共施設の改修状況の確認と、原発災害時になくはないモニタリングポスト、昨年燕市をロケ地として放映があった下町ロケットの聖地巡礼に向けた対応等について視察を行った。

視察先

- ①燕図書館
- ②ハッピー第四保育園
- ③粟生津小学校
- ④殿村さんの田んぼ
- ⑤分水統合保育園建設予定地
- ⑥モニタリングポスト
- ⑦緊急時モニタリングポスト
- ⑧殿村さんの実家

公共施設の改修については、施工業者技術の高度化により、大変素晴らしい仕上がりであり、全委員が感心していた。モニタリングポストについては、数値を確認しながら非常時の備品を確認し、原発事故等の対応に大切な施設であると認識した。

最後に、下町ロケット撮影現場の聖地巡礼が続くことを願いながら、看板の設置状況・放送に使われた建物などを視察した。これらの対応でふるさと納税が順調に集まることを期待したい。

障害福祉サービス事業所の重要性

〔市民厚生常任委員会〕

視察先

- ①障害福祉サービス事業所「すきっぷ」
- ②おでかけきららん号予約センター
- ③ワークセンターやすらぎ
- ④指定障害福祉サービス事業所「トム・ソーヤ」
- ⑤指定障害福祉サービス事業所「トムの家」
- ⑥高齢者総合生活支援施設「はな広場」



事業所内において生産活動などを行っている

障害福祉サービス事業所「すきっぷ」は、生産活動や創作活動などを通して、充実した生活が送れるように必要な支援をしている。

「ワークセンターやすらぎ」は、内職作業・小型家電解体・燕市役所清掃など、働くことを応援している。指定障害福祉サービス事業所「トム・ソーヤ」は、一般就労に向けての訓練を行っている。「トムの家」は、中途障害を持たれた方を中心にリハビリを受けながら、自立した日常生活などを目指している。高齢者総合支援施設「はな広場」は、平成29年3月から地域サロンへの送迎支援をしている。

今回の視察を終え、障害福祉サービス事業所の重要性を再認識することができた。

新たなまちの息吹を感じる

〔産業建設常任委員会〕



まちなかで起こっている変化を視察

視察先

- ①新潟県西川浄化センター（新潟市）
- ②空き家再生を含めたまちの動き（JR吉田駅前）
- ③斉藤いちご園
- ④つばめ産学協創スクエア

産業建設常任委員会では、下水道、農業、まちづくり政策や定住人口増加施策の観点で視察を行った。そのうち、JR吉田駅前の商店街では、空き家を活用して「まちなかの活性化」を試みる若者と、それに共鳴し取り組む周辺住民の動きを視察した。挑戦する若者を「よそ者」として受け入れないのではなく、既存のまちや住民が受け入れ、一緒になって「まちなかの活性化」に取り組んでいる。既にそのまちにある、いつもの見慣れた空間を新たな視点と手法で、新しい使い方を見いだす。そこに新たなまちづくりの息吹を感じた。

また、つばめ産学協創スクエアでは、大学生の就業体験希望者を積極的に受け入れ、大学生と企業の両者をつなぐ役割を果たしていることを再認識した。